

## 平成 25 年度事業の総括

平成 25 年度の沖縄観光の入域客数「ビジットおきなわ計画」目標 630 万人（海外 50 万人）に対しまして、658 万 300 人（国内 595 万 3,100 人・海外 62 万 7,200 人）で、対前年比 65 万 5,600 人増加、率にして 11,1%の増加となり、これまでの過去最高であった平成 20 年度の 593 万 4,300 人を大きく上回る観光客数を記録した。

前年度と比べて増加の要因としては、円安に伴い、国内旅行市場は割高感のある海外旅行から国内旅行へ需要がシフトしたことに加え、景気感が上向いたことが旅行需要増に拍車をかけ、旅行マインドがプラスに動いたと見られる。また、国内 L C C の沖縄路線就航による誘客効果が継続されたことや、新石垣空港の開港効果で、石垣島発着の航空路線が拡大したことが入域増の大きな要因として考えられる。

外国人観光客につきましては、円安に伴い割安感のある訪日旅行需要が拡大したことに加え、航空路線の拡充で台湾・韓国・香港の安定した増加、中国本土についても路線の再開やクルーズ船寄港により徐々に回復しており、いずれも過去最高の入域数となった。名護市観光協会では、県内外からの観光客誘致のため実施している、第 35 回名護市長杯争奪全島職域ハーリー大会（約 6,000 人）、第 52 回名護さくら祭り（二日間・108,000 人）のイベントを実施したほか、青年部 S T E P の事業として、第 4 回やんばる夜祭り in ネオパーク（9 日間・約 2,500 人）を開催その他、名護市 P R 事業として、東京都にて日本さくらの会総会・群馬県館林つつじ祭りや、北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー & 名護 P R デーに名護さくらの女王を派遣し名護 P R を行った。

また、1 月には、OCVB 主催によります、2014 沖縄ナイト in 東京・大阪に於いて、職員を派遣し市内観光事業者と連携をし名護ブースを設置、ハーリー体験・名護まちなか散策ガイド事業の説明会を実施、また、東京都内教育旅行社（8 社）の挨拶周りをを行い名護市の魅力や着地型商品の P R を行った。

交流事業では、たきかわ観光協会と友好盟約 20 周年を祝う祝賀会を両市において盛大に行った。体験型事業として、7 月にカヌーモニター体験を実施二日間で 150 名（県外 30 名）の参加がありました、ハーリー体験につきましては、11 月に東京都聖望学園高校 360 名・1 月には東京都三鷹高校 160 名の修学旅行の受入を行い、ハーリー関係者の協力のもと無事ハーリー体験を行うことが出来ました。

## 【主な事業】

### 1. 2013 海フェスタ in 名護の開催

平成 25 年 4 月 20 日(土)、21 世紀の森ビーチに於いて、ビーチクリーン約 100 名の動員がありクリーンな気持ちで海の安全祈願祭を行いました。また、名護さくらガイド 8 名の認定式も行った他、第 39 代名護さくらの女王の夏服のお披露目を行い、ハワイアンダンス・少年ビーチサッカー大会も同時に開催し海フェスタを盛上げた。

### 2. 接遇マナー（観光基礎）講座の開催

平成 25 年 5 月 22 日(水)名護市へ訪れる観光客に、より良いサービスを提供し企業の資質の向上を図り、観光地名護市をアピールしていく為、宿泊施設・観光施設の新人を中心に賛助会員を含め 50 名余が接遇マナーを受講した。

### 3. たきかわ観光協会・名護市観光協会友好観光協会盟約 20 周年交流会

平成 25 年 6 月 23 日(日)、沖縄フルーツランド（安里家）に於いて、両観光協会 20 周年交流会を行いました。安里理事長より、平成 5 年に友好盟約が締結され 20 周年歴代の役職員並びに関係者に敬意を表するとともに今後は、両市の地域特性を活かした観光資源の開発など互いに連携を図って行きたいとあいさつが行われた、両市含め 90 名余りで交流を行った、稲嶺たつ子琉舞研究所による、かぎやで風・四つ竹等で会場を盛上げた。

### 4. 第 35 回名護市長杯争奪全島職域ハーリー大会

平成 25 年 8 月 4 日(日)名護漁港構内において、ハーリー大会を開催当日のキャンセル等もあり、175 チームが参加、海外から香港チームの参加もあり大会を盛り上げた、若い世代へのハーリー継承を目的としてエキシビジョン（中学生の部）では、市内 3 チームがエントリーをした。今後の展望としては、名護ハーリーを国際的な大会に発展させるために、旅行社・OCVB の関係者を招聘し参加・観戦を楽しんで頂いた。

#### 【男子の部】

優 勝：	はまゆう（うるま市）	3. 23. 18
準優勝：	水中処分隊（うるま市）	3. 23. 91
三 位：	ガナーズ（宜野湾市）	3. 24. 06

#### 【女子の部】

優 勝：	10 倶琉（名護市）	1. 43. 80（三連覇）
準優勝：	TEAMOOKKII（うるま市）	1. 50. 31
三 位：	オートパワー（名護市）	1. 50. 75

### 【エキシビジョンの部】

優 勝：	名護ドラゴン（名護市）	1. 5 5. 0 3
準優勝：	やなわらばー（名護市）	2. 0 2. 1 4
三 位：	琉球ドラゴン（名護市）	2. 1 0. 6 9

#### 5. 第4回やんばる夜祭り in ネオパーク（青年部STEP）

日 時：平成25年8月9日～毎週金・土・日（9日間） 18時～21時

場 所：ネオパークオキナワ

夜の観光目的で、ネオパークオキナワとの連携事業を行い、県内外の旅行社とタイアップをした夜祭りはナイトトレイン・ナイトZOO・3Dシアターを行った、またステージでは、地元青年会のエイサー・保育園児の踊り等も披露し県内外からの来訪者に楽しんでいただいた、7日間総入場者数は、約2,500人が会場を訪れた。

#### 6. 観光まちづくりアドバイザー派遣事業

実施場所：平成25年8月6日（火）嘉陽区 9月4日（水）屋我地運天原・饒平名区周辺

講師：中根 忍（やんばるエコツーリズム研究所）

参加者：県・市・観光協会・地域関係者含め役50人

県のまちづくりアドバイザー派遣事業を活用し、現場視察とワークショップを通して各地域の観光資源の可能性を模索し主体性を持った地域再生のあり方を考察する事業を行った。今後は、各区長会を通して観光資源の発掘と地域再生について意見交換を重ねていきます。

#### 7. 第40代名護さくらの女王選考会

平成25年12月15日（日）、名護市産業支援センター大会議室で行われた、さくらの女王選考会において山本 南夏さん金城 園香さん、本若 晶子さんの3名が第40代名護さくらの女王に選ばれた。3名の女王は、1年間の任期で名護市の親善大使として、県内外で名護市のPRに務めている。

#### 8. 第52回名護さくら祭り開催

「日本の春はここから始まる」をキャッチフレーズに、平成26年1月25日と26日の2日間開催。、シャトルバスで名護城の桜見見学を実施（バス利用者二日間1,340名）・名護大通りをトランジット化させ市民参加型のイベントを実施、それに名護漁港で開催されたガーデンフェスタ会場にも多くの方が来訪、友好都市の滝川市・八幡平市・館林市・枚方市の関係者を始め、市内外から、約108,000人余（本部前2日間統計）が名護市を訪れた。

今年の開花状況7分咲きで葉桜となった

## 9. ハーリー体験事業

平成 25 年 11 月 9 日（土）21 世紀ビーチにて、東京都立聖望学園高等学校 360 名を受け入れし平成 26 年 1 月 23 日（木）には、東京都立三鷹高等学校 160 名を受け入れた、協会職員・漁業組合・ハーリー関係者の協力をいただき安全な海の体験事業を行うことが出来た、着順を競うハーリー競漕は、チームの団結力・コミュニケーションが図られ、地元関係者との交流ができることから、旅行社・学校関係者から高い評価をいただいている。

## 10. 観光従事者研修会の実施

平成 26 年 3 月 13 日（木）に、名護市産業支援センター会議室に於いて、沖縄の歴史・文化財のセミナーを実施、OCVB から講師をお招きし、観光従事者約 30 名が受講した。

### 【協力事業】（付属明細）

#### 1. 日本さくらの会中央大会総会

平成 25 年 4 月 9 日～11 日の日程で、第 48 回さくら中央大会へ第 39 代名護さくらの女王渡具知 弥之さんと職員 1 名を派遣した、名護市は県内唯一の日本のさくら 100 選出されており、さくら前線は南の名護市から日本一早いさくらの PR を行った。

#### 2. 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー

平成 25 年 5 月 31 日～6 月 3 日の日程で、58 名の応援団を札幌ドームに派遣し、ファイターズとドラゴンズ戦を楽しんだ、初日は、4 対 5 で敗れはしたが、二日目は、大谷投手の初勝利を見守ることが出来多いに盛り上がった試合であった。

6 月 2 日に滝川市へ移動し、両市の観光協会の友好観光協会盟約 20 周年交流会に参加し滝川市関係者含め約 150 名で代交流会を行った。

#### 3. 友好都市物産展の支援

平成 25 年 10 月 12 日・13 日の 2 日間開催された第 29 回やんばるの産業まつりに友好都市交流事業として行われた岩手県八幡平市及び北海道滝川市は、名護市・商工会が物産販売を支援し、観光協会は、マツオジンギスカンの物産販売の支援を行った。

#### 4. ツール・ド・おきなわ 2013 の協力

平成 25 年 11 月 9 日（土）10 日（日）

第 25 回を迎えたツールドおきなわ年々参加者が増え今年は、4,488 名（県内 1,981 名・県外 2,207 名・海外 300 名）対前年 49 名減となったが、エントリー中でも、市民サイクルスポーツ部門が対前年 118 名増となり名護市民のサイクルスポーツの認知度が高まっている結果である。

#### 5. 第 26 回 名護・やんばるツーデーマーチの協力

「健康と生きがいがづくり」をテーマに、平成 25 年 12 月 7 日と 8 日の 2 日間開催、5 km から 40 km までの 8 コースに延べ 1,729 人（県外参加者 601 人）が参加、秋のやんばる路ウォーキングを楽しんだ。名護市全域を舞台にしたこの大会は、日本マーチングリーグ公認 15 大会の一つで、年末、しかも唯一亜熱帯での大会とあって、最も人気のある大会となっている。観光協会は、総合案内・観光施設等のパンフレットの配布等を行った。

#### 6. 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ支援

東京から北海道に本拠地を移して 10 年目を迎えた北海道日本ハムファイターズ 1 月 31 日空港歓迎式を行い、平成 26 年 2 月 1 日から 3 月 1 日打上げまでの 1 ヶ月間、名護でキャンプを行った。名護市観光協会は、市及び商工会と共に「北海道日本ハムファイターズ協力会」の構成団体として、ファイターズのキャンプ受入協力と支援を行っている。

#### 7. 北海道日本ハムファイターズファンの集い

平成 26 年 2 月 8 日、（土）21 世紀の森屋内運動場で開催。栗山秀樹新監督率いるファイターズ選手団と地元のファンが集い、サイン会・選手会主催の抽選会等が行われ、和やかな夕べとなった。今年は、約 800 名が参加した。

#### 8. オープン戦の開催支援

平成 26 年 2 月 22 日（土）千葉ロッテ戦、約 1,600 名 23 日（日）横浜ベイスターズ戦、約 1,800 名の来場があった。観光協会は、ファイターズ名護協力会として前売りチケット販売・事前広報・当日の応援を行った。

#### 9. インターネットHPによる情報発信

名護市の観光情報の発信及び情報収集を目的として、インターネットのホームページ上で、最新情報発信および会員の事業所紹介に努めた。

【アクセス件数】

月	アクセス件数	1日平均
4月	15,916	530
5月	16,319	543
6月	21,421	714
7月	27,158	905
8月	21,626	720
9月	17,761	592
10月	16,690	556
11月	16,586	552
12月	19,162	638
1月	67,128	2,165
2月	23,243	774
3月	14,610	487

・アクセス件数 合計277,620件 (昨年件数270,751件)

【対前年 103% 6,869件増】

※総括

前年より、ホームページの内容を充実させ、市内ローカル情報も掲載した結果、対前年に比較すると毎月のアクセス数が増であった。

全体的に、名護市の情報に限らず北部地域全体の問い合わせが増えている事も増加の要因といえる。

※上半期：6月～8月の動向

夏のシーズンを迎え、観光施設・イベント情報の問合せも増えている中でも、夏祭り・ハーリー大会開催でアクセス数が伸びていると考えられる。

※下半期：9月～3月の動向

前年同様、名護さくらの女王・名護さくらまつりとイベントに関する情報提供を行っている中でファイターズのキャンプ日程・ファンの集い等に関する問合せ等が増加の要因と考えられる。